

米国バイオ＆テクノロジー株オープンの運用状況

米国バイオ＆テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

2018年10月22日

米国バイオ＆テクノロジー株オープンでは、米国のバイオテクノロジー、情報技術（IT）、先端技術製品、サービステクノロジー等の各分野の株式を買い付け、ポートフォリオを構築しています。

本レポートにおいては、最近の医療関連ロボット市場の動向と、関連セクターの四半期業績動向についてお伝えします。

【医療関連ロボット市場はますます拡大へ】

医療分野で実用化されているロボットの代表として手術支援ロボットがあります。これは、手術の術式に応じた特殊ロボットであり、心臓疾患や内臓癌などの手術を行うための内視鏡手術支援ロボット、脊椎や四肢、骨格用外科手術支援ロボットなど様々なものが存在します。ロボット製造企業にとって手術支援ロボット事業は、ロボット本体の売上に加え、本体納入後に発生する消耗器具・備品の売上、メンテナンスにかかる売上などが上乗せされることから、業績に貢献することが強く期待できます。世界の手術支援ロボット市場は、2025年にかけて年11%のペースで成長し続け、2025年には、市場規模が126億ドルに達する見通しです。

また、遺伝子解析の分野でもロボット技術の利用が進んでいます。遺伝子解析は、難病治療などに重要な技術ですが、遺伝子の構造が複雑であるため、従来は解析に時間がかかっていました。今日では、解析技術と人工知能の融合を進めたロボット技術の導入により、遺伝子解析をより短時間でできるようになりました。

遺伝的機能・変異の大規模解析ツールを開発する米国のイルミナ社は、この解析技術と医療用人工知能を組み合わせ、早期の癌の検出につなげています。今後、医療機関での採用が進めば、同社の業績は大きく拡大すると予想されます。

【増益ペースの持続可能性に注目】

S&P500種構成銘柄の予想EPS（1株当たり利益）成長率は、現在、2018年7-9月期は前年比+19.9%、10-12月期は同+17.9%に達すると見込まれています。足元では、情報技術セクターにおける高成長に一服感が出始めている一方、ヘルスケアセクターでは、ヘルスケア機器・サービスに関わる企業の好調が続くと予想されています。

当ファンドでは、引き続き業績見通しの上方修正が続くと予想される企業のウェイトを高めとする運用を行っています。

本資料における銘柄紹介は、情報提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

手術支援ロボットの主な特徴

- (1) 小型かつ多自由度の機能を備えたロボットアーム
- (2) アームの先端には3Dカメラ（内視鏡）を搭載
- (3) 高画質な画像により柔軟で広範囲に術野展開が可能
- (4) アームには自由に動く関節を有した多機能鉗子
- (5) アームには手振れ防止機能なども装備され、より精密な手術操作が可能。 etc.

（出所）各種資料より岡三アセットマネジメント作成

S&P500種構成銘柄の情報技術セクターとヘルスケアセクターの予想EPS成長率

（10月13日現在）

セクター	2018年 7-9月期	2018年 10-12月期
情報技術	19.1%	12.2%
半導体	22.7%	7.6%
ソフトウェア・サービス	16.3%	12.4%
テクノロジー・ハードウェア機器	19.4%	14.7%
ヘルスケア	9.5%	12.8%
ヘルスケア機器・サービス	16.1%	18.3%
医薬品・バイオテク・ライフサイエンス	5.6%	9.3%
S&P500	19.9%	17.9%
S&P500（除く金融）	17.3%	17.1%
S&P500（除くエネルギー）	17.2%	15.2%

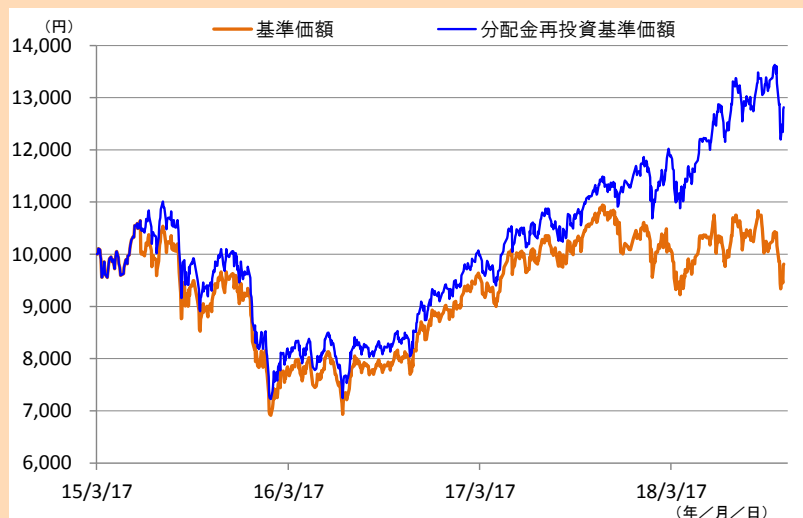
（出所）Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ＆テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ＆テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

運用状況（作成基準日 2018年10月18日）

設定来の基準価額推移
(2015年3月17日～2018年10月18日)

ファンドデータ(10月18日現在)	
基準価額(円)	9,812
残存元本(百万口)	9,086
純資産(百万円)	8,915
株式組入比率(%)	90.5
短期金融商品その他(%)	9.5
組入銘柄数	52

セクター別組入比率(10月18日現在)	
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	26.2%
ソフトウェア・サービス	23.1%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	11.4%
メディア・娯楽	10.3%
ヘルスケア機器・サービス	7.9%
半導体・半導体製造装置	7.4%
小売	4.2%

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。 ※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
※各比率はマザーファンドを通じた実質組入比率です。 ※分配金再投資基準価額は、設定日を起点として算出しております。
※分配金実績（1万口当たり、税引前）：2015年6月9日に450円、2017年6月9日に50円、2017年12月11日に650円、
2018年3月9日に550円、2018年6月11日に550円、2018年9月10日に500円
(設定来累計 2,750円)

【当面の株式市場見通しと運用方針】

当面の米国株式市場は、米国長期金利が一段と上昇したことや貿易摩擦を背景に、景気や企業収益に対する不安の高まりが見られることから、短期的には神経質な展開が続くと予想されます。一方、足元で進む2018年7-9月期の企業業績の発表では、市場予想を上回る実績値や業績見通しの発表を素直に好感して株価が上昇する動きが散見されます。株式市場が徐々に落ち着きを取り戻すにつれて、好業績銘柄を選別する動きが一段と強まっていくものと考えられます。

当ファンドの運用につきましては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。

テクノロジー関連に関しては、業績上方修正の動きが後退しつつある一部の銘柄についてウェイトを引き下げる方針です。ヘルスケア関連については、テクノロジー関連に比べると依然として株価バリュエーション面での相対的な割安感があると考えられることから、新薬の開発に進捗が見られる銘柄や、医療機関の業務管理システムなどを手掛ける銘柄のウェイトを引き上げる方針です。

以上
(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ＆テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.782%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			

※東武証券株式会社は、2018年11月1日から取扱い開始です。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)